

## 三島駅南口東街区

# 再開発事業者公募先送り

## 1年程度補助制度が厳格化

三島市は28日、三島駅南口東街区の再開発事業について、2016年度末をめぐりとしていた事業者公募の開始を1年程度先送りする考えを明らかにした。再開発に係る補助制度の運用が厳格化し補助金確保が難しくなったため、事業モデル案を見直す。市議会2月定例会の代表質問で大房正治氏(緑水会)、佐藤寛文氏(フォーラム三島)に答えた。

(三島支局・河村英之)

市によると、駐車場を建設する際の補助対象が、再開発に直接関係するマンションなどの利用者に限定され、近隣の商店街や駅周辺の整備には補助が出ない。全国で再開発計画が増加し、国が制度の運用を変更したとみられる。補助の減額幅は約10億円と見込まれる。答弁した三枝邦昭都市整備部長は「別の補助メニューの活用も検討したい」と述べた。

東街区はロータリーを挟んだ西街区とともに再開発が滞り、20年にわたって事実上の塩漬け状態が続いてきた。市は改めて再開発に乗り出す意向を打ち出した。東街区は健康医療拠点として商業施設やマンション、立体駐車場を整備する。観光交流拠点の西街区は東急グループのホテル建設が決まった。